

学校通信 ひがしやま 第38号

発行日 令和7年10月21日(火曜日)
発行者 別府市立東山幼稚園
別府市立東山小学校
別府市立東山中学校
校(園)長 谷川 芳明

○おじいさんのもり 図書コーナー



別府市立図書館が新館への移行期間に入り、団体貸出ができなくなります。そこで市内西野口町にある「松本記念児童図書館おじいさんのもり」の高橋館長に相談したところ、ご厚意により、当該図書館から本校への団体貸出が可能となりました。

「おじいさんのもり」は児童文化の向上に寄与することを目的として1985年に建設、今日に至っています。

専門職員が選書した40冊をホールに展示しています。

3学期には、新たに本が届く予定です。

★★

○小学生の「朝遊び」時間について(10/20)

・児童会体育保健部の企画により、小学校では、月に1回(今後は月2回ペースで)、朝読書の時間(15分)を利用して、全員で運動をします。

今回は、全員参加のドッジボール(低学年用)でした。子どもたちを見ていて気づいたことがありました。それは6年生が低学年の児童に向けてボールを投げる時、ボールを両手で持って、柔らかく当てていることです。それ「以外」は助走をつけて、片手で投げつけていましたが。

運動を伴う他学年との交流において、低学年への配慮を指導してきた訳ではないですが、子どもたちの中に、学年を超えて、全員が楽しく、参加できることへの理解が培われているようです。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

○食べ残された給食のゆくえ

・別府市学校給食センターによると、別府市全体で、戻ってくる(食べ残る)米飯の量は、全体の約10%。9月でみると、1月当たり1,753kg(1日当たり87kg)が食べ残しの量。ちなみに東山幼小中では、米飯の1日当たりの食べ残しの量は2~3kgだそうです。同様に、「おかず」については、1月当たり5,022kg(1日当たり251kg)が食べ残しの量。

残菜の量は昨年度とほぼ変化なし。涼しくなると減る傾向にあるそうです。

残菜の「その後」ですが、リバーサイドオアシス春木苑(し尿処理場)で細かく粉碎、脱水、その後、藤ヶ谷清掃センターにおいて、助燃剤として利用しているとのことです。

さて、給食を利用している、みなさん、どんなことを考えますか?